

こういき

2008
Vol. **13**



カシオくん
と
ペイアちゃん

仲良し兄妹が「こういき」をガイドします。

- 兄のカシオくん。正義感が強く、曲がったことが大嫌い。ちょっぴり照れ屋さん。
- 妹のペイアちゃん。歌と踊りが大好き。流行に敏感な女の子

Ninohe Kouiki

- | | |
|---------------|---------------------|
| 02 こういきの取り組み | 11 二戸地区広域行政事務組合消防本部 |
| 04 ズームイン こういき | 二戸消防署・分署 |
| 04 介護保険推進室 | 14 データ&グラフ |
| 08 清掃事業所 | 16 あんしんあんぜん |
| 二戸地区衛生センター | 暮らしのダイヤル |
| 二戸地区クリーンセンター | |

生活に身近な仕事を担う「にのへこういき」



わたしたちが暮らす「二戸地区」「こういき」では今、どんなことが起こっているのでしょうか。恵まれた自然環境の保全、そこに暮らす人たちのつながり、健康で安心な生活―それらは、多くの人たちの見えない力で支えられています。二戸地区広域行政事務組合は、ごみ処理・し尿処理、消防、介護保険など、地域の暮らしに欠かせない仕事を担っています。各分野の最近の取り組みを紹介していきます。

組合のあゆみ

二戸地区広域行政事務組合は、本来は各市町村が担当している行政事務を、共同で効率よく処理するために設置された特別地方公共団体です。

昭和39年に発足した「二戸衛生処理組合」を母体に、町村合併による新たな加入を経て48年に現在の名称になりました。平成18年には、二戸市と浄法寺町が合併した新二戸市が加入。二戸市、一戸町、軽米町、九戸村の4市町村の構成になりました。

組合議会議員13人が決まりました

19年度は、二戸市、軽米町、九戸村の組合議会議員選出が行われ、合わせて13人の議員となりました。組合の運営方針、予算、条例などの提出案件を審議し、議決機関として地域住民の声を反映させながら組合の進路を決定していきます。

市町村別選出議員は、二戸市6名、一戸町3名、軽米町2名、九戸村2名です。

監査委員（2名）は、組合議員からの選任1名、識見を有する者からの選任1名です。組合の財務に関する事務の執行、経営にかかわる事業の管理を監査します。

議員紹介

議長：佐藤 正倫（二戸市議会選出） 副議長：川原木賢一（軽米町議会選出）

二戸市議会選出議員（6名）任期 平成23年4月30日まで

菅原 恒雄・岩崎 敬郎・佐藤 正倫（議長）

佐藤 文勇（監査委員）・及川 正信・鈴木 忠幸

一戸町議会選出議員（3名）任期 平成21年12月6日まで

田村 繁幸・川口 裕幹・駒木 二郎

軽米町議会選出議員（2名）任期 平成23年4月30日まで

川原木賢一（副議長）・泉山 優

九戸村議会選出議員（2名）任期 平成23年6月30日まで

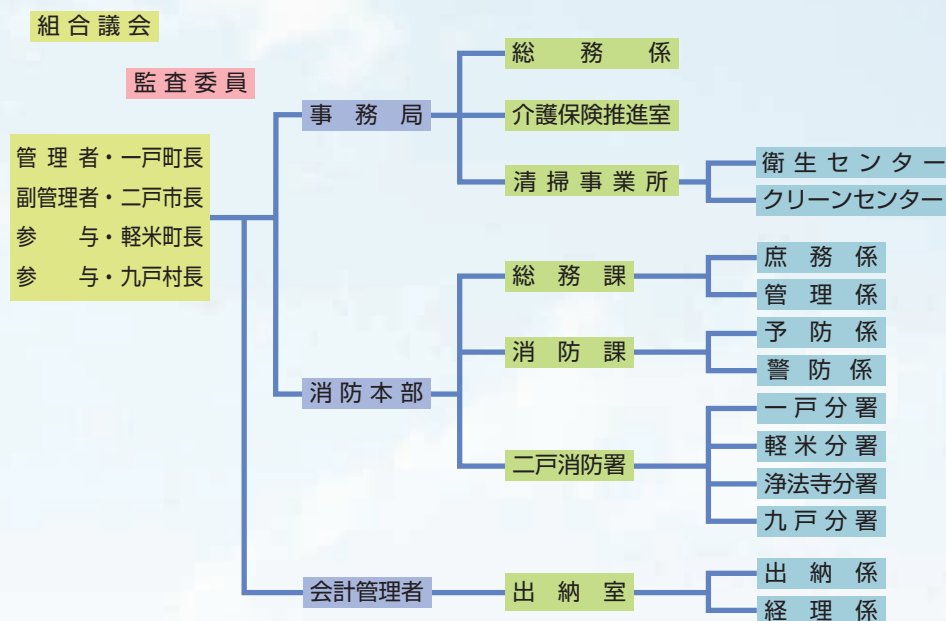
古舘 巖・橋本 敏夫

組合監査委員（2名）任期 平成23年9月4日まで

識見を有する者 小野寺隆雄

組合議員 佐藤 文勇（平成23年4月30日まで）

組合組織図



組合事務局総務係

組合事務局総務係では、二戸圏域の振興を目的にした「広域市町村圏計画」の策定及びその計画に基づく事業の実施に関する事務や、組合が行う「ごみ処理」「し尿処理」「消防（消防団を除く）」「介護保険」に関する事務事業がスムーズに行われるようにするための事務が主な仕事です。

それぞれの事務事業に必要な予算の編成と決算、経理事務、各市町村の首長や議会との連絡調整、組合議会の事務局なども担当します。



二戸市下斗米字細越20-1
☎0195-23-7772

広域行政
エリアマップ



●ふるさと市町村圏基金事業

二戸地区の特性を活かした魅力ある個性的な地域づくりを行うため、平成2年度に設置された「ふるさと市町村圏基金」。その運用益を活用して、主に地域振興事業・人材育成事業など多様な広域的ソフト事業が実施されてきました。

特に地域のイメージアップと地域文化・スポーツの創造を目指して推進してきたカシオペア関連事業は着実な成果を見せてきています。

以下に平成19年度基金活用事業をご紹介します。

● **地域づくりサポート事業** 人材育成事業

二戸管内の地域づくり活動を盛んにすることを目的に、平成13年度から平成18年度まで「カシオペア構想推進実行委員会」（二戸地方振興局および二戸市、一戸町、軽米町、九戸村の連携組織）が支援していた事業をこの基金事業が引き継いで支援しています。

二戸管内の地域づくり団体を支援する「カシオペア連邦地域づくりサポーターズ」（中間支援団体）が地域づくり団体への助成金の交付などを行っています。

二戸管内の地域づくり団体は着実に増えてきており、平成19年度は12団体が助成金の交付を受けました。また、地域づくり団体同士の連携も生まれています。

平成19年度は、一戸駅を会場にIGR開業5周年記念事業ともからめて「第7回地域づくり助成事業中間発表会」や「駅の市」「一戸駅写真展・資料展」などが開催され、多くの参加者で賑わいました。

● カシオペア連邦合唱祭 文化振興事業

カシオペア連邦内の合唱団同士の親睦と音楽（歌唱）技術の向上を目指し、平成3年に始められた合唱祭も今回で15回目を迎えました。加盟団体のほか児童合唱団など、参加を希望する団体や聴衆も増えています。音楽芸術文化が着実に定着し、演奏の技術も回を重ねるたびに向上してきています。

特に今回は、八戸・久慈・二戸の三圏域音楽祭と共催で行われ、合同演奏では会場いっぱいに友情のハーモニーが響きました。今後も音楽を通じた連携と交流が期待されます。

● **カシオペア穀彩PR事業** 地域振興事業

カシオペア連邦の観光は「天台寺」や「九戸城」「御所野縄文公園」など歴史的文化遺産の活用や「フォリストパーク」、九戸の「水芭蕉」など恵まれた自然の中での体験型観光など多種多様です。平成19年度はこれら二戸広域独自の旅行商品を主体にして、久慈市、同市山形町、葛巻町など、他地区の祭事の実施状況も加味した旅行商品の改良に取り組み、仙台・青森から計6回、バス11台で379名の参加者を迎えることができました。

また、新しいターゲット開拓に向けての取り組みとして、海外、特に台湾からの観光客を誘致する取り組みを開始しました。

